

前回調査			参考	追加・変更案		
問番号	設問内容	選択肢	就学前の国の標準設問（必須）	設問内容	選択肢	備考・設問意図
宛名のお子さんご家族の様子やお住まいの小学校区等をお答えください。						
問1(1)	宛名のお子さんの学年をお答えください。（1つに○）	1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生 5. 5年生 6. 6年生	○			
問1(2)	お子さんの人数と末のお子さん（末子）の生年月をお答えください。（数字を記入）	①お子さんの人数：（ ）人 ②末子の生年月：西暦（20 ）年（ ）月生まれ				
問1(3)	この調査にご回答いただく方はどなたですか。（1つに○）	1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他（具体的に）	○			
問1(4)	宛名のお子さんからみて、同居の家族はどなたですか。（あてはまる番号すべてに○）	1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. きょうだい 6. その他（具体的に）				
問1(5)	ご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。（1つに○）	1. 配偶者がいる 2. 配偶者はいない	○			
問1(6)	宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つに○）	1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（具体的に）	○			
問1(7)	ご回答いただく方は、草津市にお住まいになって何年になりますか。（1つに○）	1. 5年未満 2. 5年以上10年未満 3. 10年以上20年未満 4. 20年以上				
問1(8)	日頃、お子さんを預けられる人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）	1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる 2. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる祖父母等の親族がいる 3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる 5. 誰もいない				
問1(9)	お住まいの小学校区はどこですか。（1つに○）※小学校区がわからない場合は、町名を15番にご記入ください。	1. 志津小学校区 2. 志津南小学校区 3. 草津小学校区 4. 草津第二小学校区 5. 渋川小学校区 6. 矢倉小学校区 7. 老上小学校区 8. 老上西小学校区 9. 玉川小学校区 10. 南笠東小学校区 11. 山田小学校区 12. 笠縫小学校区 13. 笠縫東小学校区 14. 常盤小学校区 15. （ 町・丁目）	○			
保護者の就労状況についておうかがいします。						
問2(1)(2)	宛名のお子さんの父親・母親の就労状況について、 ①現在の状況と、②1年後の希望をお答えください。 （1）母親 （2）父親 ①現在の状況	1. フルタイム 2. パートタイム 3. 専業主婦（夫）または就労していない	○	宛名のお子さんの父親・母親の就労状況について、現在の状況をお答えください。 （1）母親 （2）父親	1. フルタイム 2. パート・アルバイトなど 3. 専業主婦（夫）または就労していない	回答者にとって、よりわかりやすくなるよう文言を変更。
	②1年後の希望	1. フルタイム 2. パートタイム 3. 専業主婦（夫）または就労していない	○	以下に続く追加設問（案）に内包		
			○	問2で「1」または「2」を選択した方におうかがいします。 就労している方は、現在、産休・育休・介護休業中ですか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○） （1）母親 （2）父親	1. 産休・育休・介護休業中である 2. 産休・育休・介護休業中ではない	就学前児童との比較を可能にするため、設問の形式をそろえる。
問2-1	問2の「①現在の就労」で「1」「2」のいずれかを選択した方（現在就労している方）におうかがいします。 以下の①1日の就労時間～④帰宅時刻についてお答えください。（1）母親（1つに○）（2）父親（1つに○）					
問2-1①	①1日の就労時間	1日（ ）時間	○			
問2-1②	②1週あたり就労日数	週（ ）日	○			
問2-1③	③家を出る時刻	（ ）時（ ）分				
問2-1④	④帰宅時刻	（ ）時（ ）分				

前回調査			参考	追加・変更案		
問番号	設問内容	選択肢	就学前の国の標準設問（必須）	設問内容	選択肢	備考・設問意図
			○	問2で「2. パート・アルバイトなど」を選択した方におうかがいします。 パート・アルバイトなどからフルタイムへの転換希望はありますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○） (1) 母親 (2) 父親	1. フルタイムへ転換したい（実現の見込みあり） 2. フルタイムへ転換したい（実現の見込みなし） 3. パート・アルバイトなどを続けたい 4. 仕事を辞めて、子育てや家事に専念したい	就学前児童との比較を可能にするため、設問の形式をそろえる。
問2-2	問2の「②1年後の希望」で「3. 専業主婦（夫）または就労していない」を選択した方におうかがいします。 1年後以降の希望についてお答えください。 (1) 母親 (2) 父親	1. 子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃に就労したい	○	問2で「3. 専業主婦（夫）または就労していない」を選択した方におうかがいします。 就労したいという希望はありますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○） (1) 母親 (2) 父親	1. 子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃に就労したい 3. 1年以内に就労したい	
			○	上記の間で「2」または「3」を選択した方におうかがいします。 希望する就労形態はどれですか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○） (1) 母親 (2) 父親	1. フルタイム 2. パート・アルバイトなど	
			○	希望する就労形態について、①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間」をすべてご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一桁に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入） (1) 母親 (2) 父親		
			○	①1週あたりの就労日数	() 日	
			○	②1日あたりの就労時間	() 時間	
問3	宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。(1) 母親(1つに○) (2) 父親(1つに○)	1. 育児休業を取得せず、働き続けている 2. 育児休業取得後、職場に復帰した 3. 現在も育児休業中である 4. 育児休業中に退職した 5. 出産を機に退職した 6. 出産以前から働いていなかった			1. 育児休業を取得しなかった 2. 育児休業取得後、職場に復帰した 3. 現在も育児休業中である 4. 育児休業中に退職した 5. 出産を機に退職した 6. 出産以前から働いていなかった	端的な言い回しに修正。
				問3で「1. 育児休業を取得しなかった」を選択した方におうかがいします。 宛名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しなかった理由を、以下の選択肢からご記入ください。 (それぞれ、あてはまる番号すべてを、以下の記入欄に記入) (1) 母親 (2) 父親	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しかった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所(園)などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母などの親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. その他()	育児休業に関して、取得しづらいと感じる背景を調べるため。

前回調査			参考	追加・変更案		
問番号	設問内容	選択肢	就学前の国の標準設問（必須）	設問内容	選択肢	備考・設問意図
すべての方に仕事と子育ての両立支援についておうかがいします。						
問4	仕事と子育てを両立する上で大変だと感じることは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）	1. 急な残業・仕事が入ってしまう 2. 自分や子どもが病気やケガをした時 3. 家族の理解が得られない 4. 職場の理解が得られない 5. 子どもの他に面倒をみなければならない人がいる 6. 子どもと接する時間が少ない 7. その他（具体的に） 8. 特になし 9. 就労していないのでわからない				
問5	仕事と子育てを両立する上で必要なことは何ですか。（あてはまる番号すべてに○）	1. 児童育成クラブや保育所（園）、認定こども園等の整備 2. 急な残業や出張等に、柔軟に対応してくれる保育サービスの整備 3. 子どもや自分が病気やケガをした時に、面倒をみってくれる人や保育サービスがあること 4. 同居・近居の家族や親族等が子育てに協力してくれること 5. 育児休業や介護休業等の取得が容易にできること 6. フレックスタイムや短時間勤務等の活用 7. 育児休業中の経済的支援が充実すること 8. 家族や隣近所・知人等からの子育てやサービス等に関する情報提供 9. 市役所や市の機関等からの子育てやサービス等に関する情報提供 10. その他（具体的に）				
放課後等の過ごし方についておうかがいします。						
問6	宛名のお子さんは、平日の放課後や土曜日、日曜日は、どのように過ごしていますか。 ①平日の放課後 ②土曜日 ③日曜日 ※日曜日は選択肢「2」「3」なし	1. 小学校にいる 2. 児童育成クラブで過ごす 3. 放課後等デイサービスで過ごす 4. 子どもが家でひとりで過ごす 5. 保護者や祖父母等家族（大人）と過ごす 6. きょうだい等家族親族（子ども）と過ごす 7. 家、公園等で友だちと過ごす 8. 市民センター等の公共の施設にいる 9. 子ども会活動に参加している 10. 学習塾やピアノ教室等の習い事に行く 11. スポーツ活動に参加している 12. 同居していない親族や知人宅で過ごす				
問7	宛名のお子さんは、現在、児童育成クラブを利用していますか。（1つに○）	1. 利用している ⇒問7-1へ 2. 利用していない ⇒問8へ	○		1. 利用している 2. 利用したいが利用できていない 3. 利用していない	
問7-1（1）	問7で「1. 利用している」を選択した方におうかがいします。 平日の週あたりの利用日数と土曜日の利用の有無について、お答えください。 （1）平日（数字を記入）	週あたり（ ）日利用	○		週あたり（ ）日利用 利用している時間帯（ ）時まで	児童育成クラブのニーズをより正確に把握するため。
問7-1（2）	（2）土曜日（1つに○）	1. 利用している ⇒ 月あたり（ ）回利用 2. 土曜日は利用していない				
			○	問7で「2. 利用したいが利用できていない」を選択した方におうかがいします。 児童育成クラブを利用できていない理由をご記入ください。（あてはまる番号1つに○）	1. 就労していないなど、利用要件を満たしていないため 2. 児童育成クラブに空きがないため 3. 通学している小学校に児童育成クラブがないため 4. 春休み・夏休み・冬休みのみ利用したいが、申し込み方法がわからないため 5. 経済的な理由で利用できないため 6. その他（ ）	児童育成クラブのニーズと実態の乖離を調べるため。
問8	児童育成クラブの利用について、ご意見や希望があればお聞かせください。（あてはまる番号すべてに○）	1. 利用時間を延長してほしい 2. 利用できる学年を延長してほしい 3. 日曜日・祝日も開いてほしい 4. 施設・設備を改善してほしい 5. 指導内容を工夫してほしい 6. 保育所（園）や幼稚園でも開設してほしい 7. その他（具体的に） 8. 現在のままでよい 9. 特になし				

前回調査			参考	追加・変更案		
問番号	設問内容	選択肢	就学前の国の標準設問（必須）	設問内容	選択肢	備考・設問意図
問9	宛名のお子さんについて、平日、土曜日、日曜日、長期休暇中の児童育成クラブの利用希望についてお答えください。 (1) 平日 (2) 土曜日 (3) 日曜日 (4) 夏休みや冬休み等長期休暇					
問9①	①利用意向（(1)～(4)それぞれ1つに○）	1. 利用したい 2. 利用希望はない	○			
問9②	②利用を希望する学年（あてはまる番号すべてに○）	1. 1年生 2. 2年生 3. 3年生 4. 4年生 5. 5年生 6. 6年生	○			
問9③	③利用したい日数・時間（数字を記入） (1) 平日	週あたり（ ）日利用 下校時～（ ）時まで				
	(2) 土曜日	月あたり（ ）回利用 （ ）時～（ ）まで				
	(3) 日曜日	月あたり（ ）回利用 （ ）時～（ ）まで				
	(4) 夏休みや冬休み等長期休暇	週あたり（ ）回利用 （ ）時～（ ）時まで				
病気の際の対応についておうかがいします						
問10	この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。（1つに○）	1. あった ⇒問10-1へ 2. なかった ⇒問11へ	○			
問10-1①	問10で「1. あった」を選択した方におうかがいします。 この1年間にとった対処方法と、日数をお答えください。 ※半日程度の場合も1日とカウントします。 ①1年間の対処方法（あてはまる番号すべてに○）	1. 父親が仕事等を休んだ 2. 母親が仕事等を休んだ 3. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった 4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた 5. 病児・病後児保育を利用した 6. ベビーシッターを利用した 7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 8. その他（具体的に）	○		1. 父親が仕事等を休んだ 2. 母親が仕事等を休んだ 3. （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった 4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた 5. 病児・病後児保育を利用した 6. ベビーシッターを利用した 7. ファミリー・サポート・センターを利用した 8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 9. その他（具体的に）	就学前児童との比較を可能にするため、設問の形式をそろえる。
問10-1②	②日数（年間）（数字を記入）	①の選択肢それぞれに対して（ ）日	○			
問10-2	問10-1で「1」「2」を選択した方におうかがいします。 仕事等を休まずに対処することもできた場合、どのように対処したかったですか。 （もっとも考えに近いもの1つに○）	1. いずれにしろ父親か母親が仕事を休んで対処した ⇒問10-3へ 2. 親族・知人に子どもをみてもらった ⇒問10-3へ 3. ベビーシッターを利用したかった 4. ファミリー・サポート・センターを利用したかった 5. 病児・病後児保育を利用したかった 6. その他（具体的に）			1. いずれにしろ父親か母親が仕事を休んで対処した 2. 親族・知人に子どもをみてもらった 3. 何らかのサービス・事業を利用したかった （例：ベビーシッター、ファミリー・サポート・センター、病児・病後児保育施設など） 4. その他（具体的に）	下記の設問を追加することを加味し、同様の内容を聞く設問を減らすため選択肢「3」「4」を統合。
			○	問10-1で「1」「2」を選択した方におうかがいします。 母親または父親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思いましたか。（あてはまる番号1つに○）	1. 「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った 2. 利用したいとは思わなかった	病児・病後児保育施設のニーズを把握するため、設問を追加。
			○	「1. 「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」を選択した方におうかがいします。 病児・病後児のための保育施設などを何日間利用したいと思いましたか。	問10-1②の「1」と「2」の合計日数のうち、（ ）日間利用したい	
				「1. 「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」を選択した方におうかがいします。 あて名のお子さんが病気やケガで、通常の教育・保育事業を利用できない時に、病児・病後児のための保育施設などへ預ける場合、どの事業形態が望ましいと思えますか。（あてはまる番号すべてに○）	1. 他の施設（例：幼稚園、保育所など）に併設した施設で子どもを保育する事業 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 3. 地域住民などが子育て家庭などの身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センターなど） 4. その他（ ）	子どもが病気になった際に預ける施設の事業形態について、ニーズを把握する。

前回調査			参考	追加・変更案		
問番号	設問内容	選択肢	就学前の国の標準設問（必須）	設問内容	選択肢	備考・設問意図
問10-3	問10-2で「1」「2」を選択した方におうかがいします。 サービス等を利用したいとは思わない理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもが病気の時は、父親や母親がそばにいたい 2. 親族・知人等身近な人を頼ることができる 3. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安 4. サービスの質に不安がある 5. 利用料がかかる・高い 6. 利用料や利用する方法がわからない 7. 立地・開始時間・日数等の利便性が悪く利用しづらい ⇒どのような場所であれば便利ですか（具体的に） 8. その他（具体的に） 				
子どもの育ちをめぐる環境についておうかがいします						
問11	日頃からどのような近所付き合いをしていますか。（1つに○）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 常日頃から、家族ぐるみの付き合いがある 2. 困っているとき（病気、悩み、事故等）に、相談をしたり、助け合ったりする 3. たまに立ち話をする程度 4. 会えばあいさつをかわす程度 5. 付き合いがほとんどない 				
問12	子育てについて楽しく感じますか、それとも不安や負担を感じますか。（1つに○）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 非常に不安や負担を感じる 2. なんとなく不安や負担を感じる 3. あまり不安や負担等は感じない・子育ては楽しい 4. まったく不安や負担等は感じない・子育てはとても楽しい 5. なんともいえない 				
問13	普段の生活の中で、お子さんとどのようにかかわっていますか。（あてはまる番号すべてに○）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業参観等の学校行事にはできるだけ出席する 2. 子どもの友だちを把握している 3. 子どもと一緒に遊ぶ 4. 子どもと話をする 5. 子どもと一緒に食事をする 6. 子どもの宿題を確認している 7. 子どもの帰宅時間には誰かが家にいるようにしている 8. 勉強を教える 9. 学校への忘れ物をしないように気をつけている 10. 子どもにかかる教育費は惜しまない 11. その他（具体的に） 12. 特に意識していることはない 				
問14	子育てに関して、日頃悩んでいること、また気になることはどのようなことですか。（あてはまる番号すべてに○）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの病気や発育・発達に関すること 2. 子どもの食事や栄養に関すること 3. 子どもとの接し方・育児に自信が持てない 4. 子どもと接する時間が少ない 5. 子どもの友だち付き合いに関すること 6. 近所に子どもの遊び友だちがいない 7. 学校に行きたがらない 8. 仕事や自分のやりたいことが十分できない 9. 子育てに関して話し相手や相談相手がいない 10. 配偶者や家族との子育てに関して意見が合わないことや、協力が少ないこと 11. 子育てについて、親族・近隣の人・職場等まわりの見目が気になる 12. 配偶者や家族以外に子育てを手伝ってくれる人がいない 13. 子どもを叱りすぎているような気がする 14. 地域の子育て支援サービスの内容や利用・申し込み方法がよくわからない 15. 子どもがいじめたり、いじめられていないかなどについて 16. 自分や子どもが急に病気になってしまった時に、子どもをみてくれる人がいない 17. その他（具体的に） 18. 特に悩んでいることや気になることはない 				

前回調査			参考	追加・変更案		
問番号	設問内容	選択肢	就学前の国の標準設問（必須）	設問内容	選択肢	備考・設問意図
問15	子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。（あてはまる番号すべてに○）	1. 配偶者・パートナー 2. 親族（親、きょうだい等） 3. 友人・知人 4. 隣近所の人 5. 職場の人 6. 幼稚園や保育所（園）、認定こども園、学校等の保護者の仲間 7. 子育てサークルの仲間 8. インターネット 9. 幼稚園や保育所（園）、学校等の先生 10. 子育て支援センター・つどいの広場 11. 教育相談（適応指導教室等） 12. 市役所・保健センター（窓口・保健師等） 13. かかりつけの医師・看護師 14. 一人で抱えている 15. 特に相談することはない 16. その他（具体的に）				
問16	あなたは、同じくらいの子どもを持つ親同士の付き合いがありますか。（あてはまる番号すべてに○）	1. 子育てサークル等自主的な活動を行うグループに入っている 2. 子どもを遊ばせたり、助けあったりする子育て仲間がいる 3. 子育てのことを相談したり、話したりする友人がいる 4. 同年齢の子どもの親との付き合いはあまりない 5. その他（具体的に）				
問17	子育ての仲間づくりの機会があれば、参加したいと思いますか。（1つに○）	1. 参加したい 2. 誘われれば参加したい 3. あまり参加したくない 4. 参加したくない				
問18	あなたの子育ての経験を生かせる場や機会があれば、ボランティアとして参加したいと思いますか。（1つに○）	1. 参加したい 2. 子どもがもう少し大きくなったら参加したい 3. 誘われれば参加したい 4. あまり参加したくない 5. 参加したくない 6. その他（具体的に） 7. わからない				
問19	次の1～12の事業に関して、①認知状況、②利用状況、③利用意向についてお答えください。					
問19①	認知状況 知っている	1. 地域や市民センター等で実施している活動（わんぱくプラザ等） 2. 民生委員・児童委員の相談支援活動 3. 市子ども家庭課の家庭児童相談 4. 市子ども家庭課のひとり親家庭の相談 5. 病児・病後児保育 6. ファミリー・サポートセンター 7. 短期入所生活援助事業（ショートステイ） 8. 発達支援センター（子どもの発達相談） 9. 市やまびこ教育相談室（不登校やいじめに関する相談） 10. 市立障害者福祉センター 11. こころの電話 12. 県中央子ども家庭相談センター				
問19②	利用状況 利用したことがある	1. 地域や市民センター等で実施している活動（わんぱくプラザ等） 2. 民生委員・児童委員の相談支援活動 3. 市子ども家庭課の家庭児童相談 4. 市子ども家庭課のひとり親家庭の相談 5. 病児・病後児保育 6. ファミリー・サポートセンター 7. 短期入所生活援助事業（ショートステイ） 8. 発達支援センター（子どもの発達相談） 9. 市やまびこ教育相談室（不登校やいじめに関する相談） 10. 市立障害者福祉センター 11. こころの電話 12. 県中央子ども家庭相談センター				

前回調査			参考	追加・変更案		
問番号	設問内容	選択肢	就学前の国の標準設問（必須）	設問内容	選択肢	備考・設問意図
問19③	利用意向 今後利用したい	1. 地域や市民センター等で実施している活動（わんぱくプラザ等） 2. 民生委員・児童委員の相談支援活動 3. 市子ども家庭課の家庭児童相談 4. 市子ども家庭課のひとり親家庭の相談 5. 病児・病後児保育 6. ファミリー・サポートセンター 7. 短期入所生活援助事業（ショートステイ） 8. 発達支援センター（子どもの発達相談） 9. 市やまびこ教育相談室（不登校やいじめに関する相談） 10. 市立障害者福祉センター 11. こころの電話 12. 県中央子ども家庭相談センター				
問19-1	問19の6・7のサービスについて、②利用状況（これまでに利用したことがある）、③利用意向（今後利用したい）で1つでも選択した方におうかがいします。 1年間の利用日数および利用希望日数をそれぞれ（ ）内に数字でご記入ください。 6. ファミリー・サポート・センター 7. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）	①1年間の利用日数（ ）日 ②今後の利用希望日数（ ）日				
問20	草津市の「子ども医療費助成制度」に満足していますか。（1つに○）	1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満 6. わからない				
問21	草津市は子育てをしやすい市だと思いますか。（1つに○）	1. そう思う 2. どちらかというと思う 3. どちらかというと思わない 4. そう思わない 5. わからない				
問22	草津市の子育てに関する取り組みについて、どのように感じていますか。一定、評価できる事業、充実してほしい事業をお聞かせください。（あてはまる番号すべてに○）					
	評価できる事業 充実してほしい事業 それぞれあてはまる番号すべてに○	1. 児童育成クラブの整備と定員 2. 保護者の急病や冠婚葬祭等緊急時の夜間・お泊りの事業 3. 子どもが病気の時に預かる病児・病後児保育 4. 子育てに関する情報提供 5. 子育てに関する相談体制 6. 子どもに対する医療体制の整備 7. 障害のある子どもへの子育て支援 8. 仕事と子育ての両立支援 9. 残業時間の短縮や休暇の取得促進に関しての企業への働きかけ 10. 子育てサークル活動への支援 11. 子育て家庭が集い、交流する場や機会の提供 12. 親子が参加できる身近な場や機会 13. 親子が楽しめる観劇、音楽会等の文化事業 14. 図書館等の文化施設の整備 15. 子育てに配慮された公共施設の整備 16. 子どもの遊び場 17. 公園や歩道の整備 18. 地域の人たちによる子育て支援活動 19. 地域の人たちによる防犯活動				

前回調査			参考	追加・変更案		
問番号	設問内容	選択肢	就学前の国の標準設問（必須）	設問内容	選択肢	備考・設問意図
問23	安心して子育てするために必要だと思う地域での取り組みはどのようなことがありますか。 （あてはまる番号すべてに○）	1. 子育てについて、相談できる友だちや子育て経験者と知り合う機会をつくる 2. 子育て支援のボランティアの育成を図る 3. 子育て中の親子が集まったり、一緒に遊べる場を増やす 4. 子育て中の親がボランティアや、地域活動に参加しやすい仕組みをつくる 5. 地域ぐるみで子どもの安全や非行防止のための活動をする 6. 子育てに関する身近な相談窓口をつくる 7. 身近な地域で世代間交流やさまざまな体験の機会等をつくる 8. その他（具体的に） 9. 特に必要だと思うことはない				
問24	草津市の子育て支援についてのご意見、ご提案等がありましたら、お書きください。	①教育・保育サービスについて ②相談・情報提供について ③周囲のサポートについて				